

# 派遣労働者の雇用まもり、正社員化をはかれ

「景気悪化」を口実にした

首切り横行を許すな

JMIUが政府に強く要求

賃金ピンハネ。青年、労働者をくもいものにする派遣労働が、貧困、ワーキングプアを増大させています。社会的批判の前に政府・与党も、「日雇派遣」規制など、労働者派遣法の一部改正に動きはじめています。

しかし、それだけでは派遣問題は解決しません。派遣労働者はいま、トヨタ自動車九州での派遣労働者800人の雇止め、派遣から直接

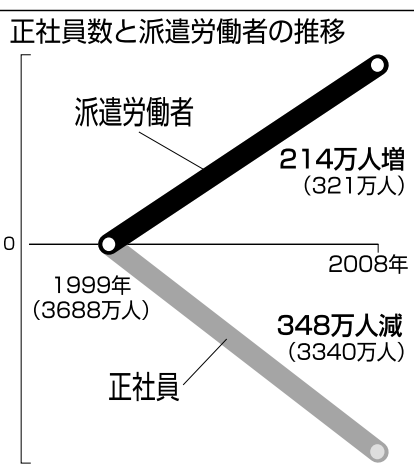
雇用の期間工(契約社員)になってもいつ首になるかわからない短期雇用の反覆など、雇用不安にさらされています。直接雇用が原則です。

3年の期間制限をこえる派遣や期限を逃れるための偽装請負など、違法派遣がいまも蔓延しています。

私たちは7月に続き9月にも、厚生労働省と交渉。派遣労働者の雇用の安定、正社員化など、労働者派遣法の抜本改正を要求、運動をつよめています。

私たちは派遣労働者の雇用と権利をまもるため、厚生労働省に要求しました

- ① 偽装請負解消と直接雇用・正社員化の義務化。
- ② 派遣も常用雇用へ。日雇い派遣禁止、登録派遣の規制。
- ③ 製造現場の除外など、派遣対象業務の制限。



徳島労働局 日亜化学の「偽装請負」認定

日亜は「直接雇用」の約束まもれ

青色発光ダイオードで世界的に有名な日亜化学(徳島)で、派遣の青年労働者たちが、日亜化学での直接雇用・正社員化をもとめたたかっています。

日亜化学は「偽装請負を解消し、直接雇用、正社員化をはかる」とのJMIUとの合意(2006年11月)

を反故にしたばかりか、「偽装請負はなかった」と居直り、偽装請負を告発した青年たち(JMIU組合員)を日亜から放り出だすために、この間従事してきた派遣の仕事の打ち切

りを通告してきました。

青年たちは、「日亜で仕事を確保し、正社員にせよ」と、歯をくいしばりたたかっています。この11月9日には、現地(阿南市)で全国の仲間が激励集会を開きます。

8月20日には徳島労働局が、「偽装請負があった」と認定、日亜化学と派遣会社双方に総点検を指導しました。日亜化学は、違法を認め、青年労働組合との約束をまもり、社会的責任を果たすべきです。

JMIUは「派遣労働者の雇用と権利を守れ」「青年に安定した雇用を」とたたかっています